



『2003年を振り返って』

ペリカンクラブ会長 米濱 鉦二

2003年もあと1、2ヶ月を残すのみとなりました。まだ1年間を振り返るのは早いかもしれませんが、来年の計画を立てるためには過去、現在を概観しておくことも必要ではないかと思えます。少しでもご参考になれば幸いです。

現在、外食は土砂降りの時代です。菓子業界はどうでしょうか。昨年まで、外食は低価格戦争のような様相を呈しておりましたが、今は一転して、高価値、高品質をうたっているところが多くなってきております。マクドナルドをはじめとするファーストフードも、すかいらーくグループ、デニーズ、ロイヤルなど、ファミリーレストランチェーンも、単独店も同じ方向に向かっていきます。

マクドナルドは新商品の月見バーガーを単品190円とし、セットでは520円として、従来の低価格路線を大きく変えています。

モスバーガーは580円、640円のバーガーも出してきています。低価格をモットーのサイゼリアは価格表示を高いものから順に並べています。低価格戦争の後には品質戦争の時代が来るということは、当然の帰結で、同じ価格なら品質の高いもの、少し価格が高くなって品質のよいものへとお客は動きます。わが社の経営戦略を具体的にどう立てるかが問われる時代です。

それと最近、いかにして食の安全と取り組み、かつそれをどのようにお客様にアピールするかが課題となってきております。環境問題も同じです。店や工場から出る排出物を極力少なくするという環境への配慮がされる時代になってきています。

レストランにとって、味と価格が最重要課題であることには変わりませんが、同程度の味と価格なら、より積極的に食の安全と環境問題に取り組んでいるレストランに行こうというのは、人として自然な感情です。また、社会がいまの世の中、一番求められていることだと思えます。

お客様側の変化と言えば、以前から言われていることではありますが、単身世帯の増加、女性の就業比率の増加に伴い、食の外部化が顕著になってきています。家庭での調理の減少傾向により惣菜、テイクアウト、デリバリーの利用が多く伸びています。これにわが社としてどう対処するか、大きな課題であります。

従業員問題としては、今後、週20時間以上勤務するパートタイマーに対しても社会保険の加入が義務付けられます。お客様からは、店内での品質の高い調理を要求される一方、レストランとしては、ローコストオペレーションをしなければ経営が成り立ちません。パートタイマーに頼らざるを得ないのですが、それも週20時間以下に抑えねばならなくなります。このへんの問題にどう対処するか、も大きな課題です。

問題山積みの2004年ですが、これは今年わかったことではなく、いずれも、数年前から言われていたことで、いよいよ、問題が現実化してきたということではないでしょうか。

業界としてはレストランの数が増えすぎ、いわゆるオーバーストア状態になり、スーパーマーケットや紳士服、家電販売のように、淘汰される企業も続出するでしょうし、合併、統合、グループ化、系列化も促進されるでしょう。このような時代に生き残るためには、熾烈な競争に打ち勝たねばなりません。

商業界の精神「店はお客様のためにある」を実践してペリカンクラブの会員は絶対、強いといわれる集団にしたいと思えます。2004年の計画を今から立てて戦い抜きましょう。



深秋の登別地獄谷

第42回 ペリカンクラブ北海道大会開催



第42回ペリカンクラブ北海道大会が10月14日～16日の3日間行われました。天候にも恵まれ北国・北海道の大自然を満喫した素晴らしい大会でした。

参加された皆さんそれぞれに楽しい思い出をポケット一杯に持ち帰ったことと思います。実行委員の皆さま本当にご苦労様でした。

役員会報告

総会前に役員会が開催され次の議案が討議されました。

①第43回大会について②第44回大会について③現行東西2ブロック分割から4地区分割移行について④会員増強及び退会防止について⑤新入会員、退会会員について。その他として役員改選問題も議案として審議されました。ペリカンクラブの思想を保持しながら開かれた会の運営をしていくことが会の発展につながる…との基本的な考え方を役員全員で確認しました。各項目について、熱心に討議され決議事項、継続審議事項と分けし閉会となりました。決議事項につきましては次号にてお知らせします。



故 新道喜久治氏を偲ぶ会

10月16日大会終了後有志20余名が参会し氷雪の門にて偲ぶ会を開催いたしました。故人はペリカンクラブには思い入れも強く会の発展に多大な貢献されたことは会員の知るところです。参会者はそれぞれ故人の思い出を語り合いご冥福を祈り散会しました。



ご挨拶される新道巴さん

唐橋宏氏「観光カリスマ地域リーダーに選出される」

会員の唐橋宏氏（会津・桐屋）が政府肝入りでスタートした「観光カリスマ」のメンバーに選出されました。全国で24名が選出され眠っている観光資源を世界の人に紹介し観光立国を目指すという政府の経済活性化策の一つとして事業化されるものです。去る4月22日に行われた懇談会には小泉首相も出席しメンバーに対し地域経済の活性化に取り組む様激励しました。唐橋氏はそばを通して地域おこしに尽力されたことが高く評価されメンバーに選出されたものです。当日小泉首相に対し「会津に国際そば文化研究所」を造ってほしいとの要望を出されました。会津地方のみならず全国にその名を知らしめた唐橋氏の活動はペリカンクラブ会員としても大変喜ばしいことと思います。氏の座右の銘は「一人は万人のために、万人は一人のために」この発想が今日の活動の原点ではないでしょうか。会員の皆さま会津方面にお越しの節はぜひ桐屋さんを訪ねてみて下さい。



桐屋プロフィール

(有)會津きり屋 本店 会津若松市上町2-34 ☎0242-25-3851

実務研究会報告

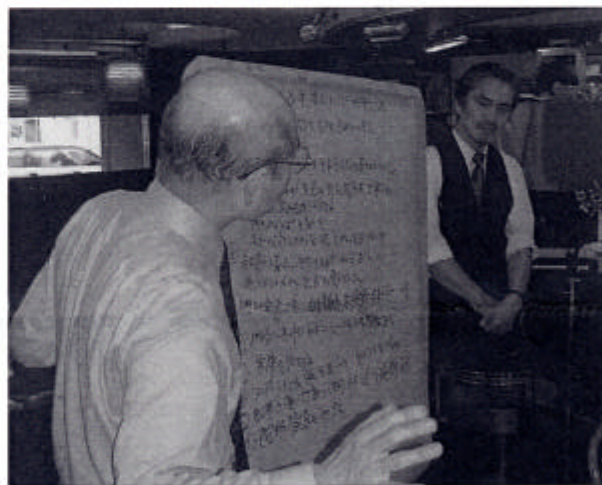
第4回実務研究会が3月29日横浜にて行われました。今回の研究企業は(有)サモアール（加藤優未子氏）さんです。

今回の研究テーマは

- ①周辺同業店との競合に対してどう差別化をして勝ち抜くか？
- ②(有)サモアールが抱えているいくつかの問題点の解決策

この2つのテーマに沿って参加者と加藤オーナーで真剣なるミーティングが行われました。サモアール各店（馬車道店・弥生台店・相鉄ジョイナス店）をクリニックし、参加者各氏よりそれぞれのご意見をいただきました。紅茶専門店として地元の方に大変人気のあるお店ですので「お客さまとの良い関係づくり」を更に徹底して行うことが勝ち抜く要因とのお話がありました。大変有意義な研究会であったと思います。

記 藤永 一郎



平成15年度全国同友会総会の収穫 -同友会の「人づくり・組織づくり」-

7月の28、29日。7月の終わりにしては、肌寒ささえ感じられる長雨の中、東京プリンスホテル「マグノリアホール」には、全国から120人を超える商業界同友会のリーダーたちが集まりました。この夏の総会は、同友会全体で行われるイベントとしては2月の商業界本ゼミに並ぶ重要な位置づけのものです。そして今回、貴重な問題提起と有意義な活動報告がなされました。

まず、会長には竹村猛志さんが再任され、1期2年、最高指導者として全国の同友会の面倒を見ていただくことが決定しました。さらに新副会長に加藤榮一さん、小松務さんが就任されました。

総会の次には、エルダー部門、チューター部門が開催され、チューター部門では「わが店を語る」と題して、(株)1%クンの店の中山志延さん、(株)甲南チケットの小林宏志さんの講演がありました。

さらに、今回のハイライト企画は「同友会活動活性化について」とテーマ付けされた「第1回全国連合同友会加盟会長会議」でした。柴田英輔議長、梶谷晋弘コーディネーターのもと、実に中身の濃い発表と議論が展開されたのでした。

又、ペリカンクラブからの報告がありました。ペリカンクラブは全国フードビジネス同友会で、いわば業態同友会の走りのような存在。しかも124社加盟の最大の同友会ともいえます。ペリカンクラブは大きな集団だからこそ、世代別に三つの輪を作って活動しています。おじいちゃんの世代、お父さんの世代、息子の世代とでも言ったらいいのでしょうか。それぞれに問題意識も違えば、経営に関する視点も違う。だから三つの輪にする。これは「小さく考える」の実践でもあります。山形県の東根同友会はずでにこの世代別同友会作りを実現させていて、ここには「さくらんぼ東根同友会」が設立されています。

同友会活動は「人と組織」によって、活性化されます。これは企業経営そのものです。その「人」が元気になり、「組織」が生き生きとしてくることが、同友会活動の目的でもあります。人に水をやり、光を当て、肥料をやるのが組織の役割であり、人によって組織は甦ります。組織は「小さく、狭く、濃く、深く」運営しなければなりません。交流させなければなりません。それがやがて、結果として大きくなってゆきます。大きくなったらまた、小さくするのは。そして小さな組織に核(コア)となる人が育って、組織を大きくする力を蓄えるのです。

全国の同友会の活力が、みなぎってくることを確かに予感させる平成15年度の総会なのでした。

(結城義晴)

全国連合同友会新役員体制決定

顧問	倉本 初夫	(株)商業界 主幹	理事	大久保守晃	(株)シバタ
相談役	青山 庄司	(株)マルベニ洋品店	理事	大村 良雄	(株)オオムラ
相談役	荒木 俊彦	(株)トー屋	理事	西端 春枝	(株)西端春枝事務所
相談役(新)	村山 孟	(株)ムラヤマ書店	理事	林 建次	(株)ハヤシゴ
会長	竹村 猛志	(株)竹風堂	理事	高田 敬男	ブティックROKO
副会長	小原堂三郎	(株)源研	理事	古塚 邦彦	(株)浅川園
副会長	梶谷 晋弘	(株)芝寿し	理事	宮下 晃	(株)マルタ
副会長	小坂 三因	(株)真砂家	理事(新任)	加藤 智子	(株)モミの木
副会長(昇任)	加藤 榮一	(株)セイミヤ	理事(新任)	長澤 政代	ナガサワ食品(株)
副会長(昇任)	小松 務	(株)小松製菓	理事	横尾 昭男	(株)ことぶきや漬物
会計理事	栗原 一博	(株)ダスキンくりはら	監事	金井五郎兵衛	丹波屋(株)
理事	王 国雄	(株)江山楼	監事	鈴木 崇介	(株)三河屋
理事	大槻 利夫	(株)かね喜	監事(新任)	吉澤誠之助	(株)ミカド



東洋開発(株) (第7ブロック) 村上敬氏の長男 剛さんが9月24日結婚されました。ペリカンクラブつくし会でもリーダーとして活躍されており、父敬氏の後継者として日々研鑽を積まれていました。今後は副社長として会社の発展に精一杯頑張りますと決意を述べておられました。心からお祝い申し上げます。

新入会員のご紹介

第8ブロック 原田 政昭さん(福岡) 惣菜・すし・弁当
第9ブロック 上田 耕市さん(宮崎) 菓子製造小売
末長くよろしくお祈りいたします

おしらせ NEWS

退会会員 長い間のご交誼ありがとうございます

第2ブロック 村元 常昭さん 第5ブロック 柄沢 綾子さん
第3ブロック 小川 公吉さん 第7ブロック 大橋 正明さん
第4ブロック 山田南海男さん 第8ブロック 利根 博巳さん

2003.7.1現在
名誉会員 8名
正会員 114名
賛助会員 2名

ふくしまに生きる

ふくしまを守る・ふるさとを創る

(株)ダイオー (第2ブロック佐藤隆也氏) の社長夫人佐藤裕子さんが雑誌「政経東北」に紹介されました。裕子さんは福島生れの福島育ち…ふるさと福島は私の根っこですとふるさとに対して熱い想いを語っています。福島の人たちが「ふるさとの名物」ですと自慢して持っている菓子をつくらう…そう決意した裕子さんは「いもくり佐太郎」という愛らしい焼菓子をつくり全国にその名を広めることに成功しました。背のびせず気どらず、客におもねず地元の暮らしと一緒に歩んで販売されている裕子さんの姿はペリカンクラブの精神が息づいているものと思います。

岩代家数大王

福島市下野寺薬師堂後4 TEL 024-535-3311

編集後記

深秋の北海道は大変素晴らしいのひとことでした。北の大地の広さ、そして豊かな自然、心が洗われる気がしました。人間がもっとも必要としているのはこの自然ではなかったか？ふとそんな思いがしました。激動の2003年も残りわずかとなりました。景気の回復が言われていますが実体はどうなのか。疑問に感じるのは私ばかりではないと思います。今回は地方でキラッと輝く方をご紹介します。21世紀は地方の時代と言われています。地方の未来は更に光り輝くものと確信しています。

いろいろな情報お知らせ下さい。お待ちしております。

Fax.029-821-8851 E-mail:otsuki@sushi-kaneki.co.jp 広報担当 大槻
ペリカンクラブホームページ <http://www.pelican-club.com>